

# フランスの科学探査船 タラ号がやってきた！

5/5~8 仁尾マリーナ



▲乗船体験では、タラ号の乗組員から、プランクトンやサンゴを守る大切さを学習

◀マリーナ近くの海岸でゴミ拾い。たくさんのプラスチックゴミが見つかりました



▲入港歓迎セレモニーで挨拶するヨアン・ミュシュリ船長(右から2番目)ら一行とタラ号と三豊市を繋いでくれた日比野克彦さん(右)

北極海から南太平洋に至るまで世界中を航行しながら海洋調査を行うフランスの科学探査船タラ号が、三豊市に来航しました。

乗船体験では、プラスチックやビニールが海洋生物に及ぼす影響の大きさを学びました。そして、参加者は海岸のごみ拾いを通して、環境問題が身近な場所でも起きていることを実感。自分たちも真剣に取り組まなければならないと感じるきっかけとなりました。